

アンサンブル九条山 コンサート VOL.17

スペクトル、その先へ ジャン＝リュック・エルヴェを迎えて

2025年 **11月30日**【日】 **16:00** 開演 15:30 開場

高槻城公園芸術文化劇場 太陽ファルマテックホール

チケット：全席自由
一般：前売4,000円 当日4,500円
学生：前売1,000円 当日1,500円

Émilie Brout & Maxime Marion, A Truly Shared Love, 2021

アンサンブル九条山 2 回目のスペクトル楽派特集。 フランス現代音楽の旗手ジャン＝リュック・エルヴェへの 委嘱新作初演をお聴き逃しなく！

は洗練された美しい楽音だけでなく、荒々しいノイズとの間をも往き来し、人間の根源的な知覚を揺り起こす旅へと誘う。

スペクトル楽派第二世代に当たるジャン＝リュック・エルヴェは、1960年生まれ。日本文化から多大な影響を受けている彼の作品は、2000年にヴィラ九条山レジデントとして京都に滞在した経験から、更なる豊かさと広がりを見せている。アニミズム文化特有の環境との関係をモデルとした音の拡散システム《Biotope》や、借景の概念からインスパイアされた《Germination》などには、日本庭園・建築における内と外の境界感覚が色濃く反映されている。四季の移ろいを感じるように「音色」そのものに敏感な日本の土壌は、しばしば自然から題材を得るエルヴェの作品と親和性が高い。

初回の協働から7年を経たアンサンブル九条山との2度目の公演にあたり、彼が新作の題材に選んだのは能「老松」である。松の精の物語はエルヴェの感性を通し、どのような音楽作品に仕上がるのか、期待が高まる。本公演では、更に多様な受容を経て引き継がれていく若い世代の作品も交え、現代の作曲に多大な影響を与え続けるスペクトル楽派の、およそ50年にわたる系譜を俯瞰していく。

Program ● プログラム

ジェローム・コンビエ：石の煙

フルート、クラリネット、ピアノ、チェロのための《日本初演》
Jérôme Combier (1970-) : Fumo di pietra (2019) pour flûte, clarinette, piano et violoncelle

ジャン＝リュック・エルヴェ：#4 (…音は廻(めぐ)る)

フルートとエレクトロニクスのための《日本初演》
Jean-Luc Hervé (1960-) : #4 (...les sons tournent) (2019) pour flûte basse et électronique

トリスラン・ミュライユ：沈みゆく太陽の13の色

5つの楽器のための
Tristan Murail (1947-) : Treize couleurs du soleil couchant (1978) pour 5 instruments

ジャン＝リュック・エルヴェ：四方の草木も靡くかと

《アンサンブル九条山委嘱作品：世界初演》
Jean-Luc Hervé (1960-) : Toutes les herbes semblent frissonner (2025 / commande par l'Ensemble Kujoyama ; Création mondiale) pour 7 musiciens et électronique

サミール・アマルッシュ：エクスポジション I

クラリネット・ソロのための《日本初演》
Samir Amarouch (1991-) : Exposition I (2024) pour clarinette

ジェラルド・グリゼー：タレア

フルート、クラリネット、ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための
Gérard Grisey (1946-1998) : Tarea (1985-1986) ou la machine et les herbes folles pour flûte, clarinette, violon, violoncelle et piano

※曲目・曲順は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

チケット取扱 全席自由 一般：前売 ¥4,000 当日 ¥4,500
学生：前売 ¥1,000 当日 ¥1,500

●アンサンブル九条山公式予約フォーム (予約受付中)

<http://ensemble-kujoyama.blogspot.com/>



●高槻城公園芸術文化劇場 南館1F (高槻市野見町6-8)

 <https://www.takatsuki-bsj.jp/tat/>
Tel. 072-671-9999 (10:00~17:00 / 月曜休館 ※祝日の場合は翌日)
9/3(水)友の会WEB先行 9/10(水)友の会窓口・電話、ネット会員先行 9/18(木)一般発売

アクセス

高槻城公園芸術文化劇場 太陽ファルマテックホール
阪急高槻市駅 徒歩約8分・JR高槻駅 徒歩約13分

アンサンブル九条山/お問合せ

Tel 090-1710-6597
E-mail e.kujoyama@gmail.com

主催：アンサンブル九条山 共催：公益財団法人 高槻市文化スポーツ振興事業団 後援：ヴィラ九条山
助成：大阪府芸術文化振興補助金事業、公益財団法人 野村財団、笹川日仏財団、フランシス & ミカ・サラベル財団
作品提供：Émilie Brout & Maxime Marion, A Truly Shared Love, 2021
※このコンサートはサントリー芸術財団佐治敏三賞推薦コンサートです。
※本公演はフランシス & ミカ・サラベル財団の助成を受けています。
※車椅子席/補助犬の同伴をご希望の方は、アンサンブル九条山へお問合せください。


高槻城公園芸術文化劇場
Takatsuki Arts Theatre


ヴィラ
KUJOYAMA
九条山


FONDATION
JAPONAISE
SASAKAWA

NOMURA 野村財団


FONDATION
FRANCIS ET MICA SALABERT

1970年代のフランスに、ジェラルド・グリゼー、トリスラン・ミュライユら若い音楽家を中心とした、新しい現代音楽の潮流が生まれた。スペクトル楽派と呼ばれる彼らの用いる特徴的な音響として、倍音構造をコンピュータ解析・再構築して得られる多彩な響きがある。それ

作曲・電子音響 ● ジャン＝リュック・エルヴェ / Jean-Luc Hervé



パリ国立高等音楽院にて作曲をジェラルド・グリゼーに師事、一等賞を得て卒業。美学に関する博士論文とIRCAMでの研究は、自身の作曲技法についても深い洞察を与える事となる。2001年美学的側面で大きな衝撃を受けたヴィラ九条山(フランス政府によるアーティスト・イン・レジデンス)での滞在が、その後の創作を方向付ける決定的な転機となった。1997年オーケストラ作品「Ciel」がゴッフレッド・ペトラッシュ賞を受賞。2003年ドイツ学術交流会より招かれベルリンに滞在。2枚のCDがシャルル・クロ・アカデミーより le coup de cœur 賞を受賞。2004年、ティエリー・ブロンドー、オリヴィエ・シュネレルと共に l'initiative Biotop(e) を設立。彼の作品はアンサンブル・アンテルコンテンボラン、クール・シルキューイ、コントロールジャン、ミュージック・ファブリーク、KNMベルリン、ディペルティメント、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、トスカナ交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団などにより演奏されている。現在の活動の一環として、意外性のある場所でのインスタレーション・コンサートにも取り組んでいる。現在、ロワイヨモン地方音楽院ならびにブローニュ・ビヤンクール地方音楽院教授。楽譜はツェルボニー社(イタリア)より出版されている。

指揮 ● 夏田昌和 / Masakazu Natsuda



東京藝術大学大学院修了後、パリ国立高等音楽院にてG.グリゼーに作曲、J.S.ペローに指揮を学び、審査員全員一致の首席一等賞を得て同院作曲科を卒業。芥川作曲賞や出光音楽賞、Fundação Oriente国際指揮者コンクール第3位など、作曲と指揮の両分野での受賞や入賞、入選多数。作品は世界各地の様々な音楽祭や演奏会にて紹介されている。指揮者としてはグリゼーの「Vortex Temporum」と「境界を超えるための4つの歌」、ライヒの「Tehillim」といった大作の日本初演や海外現代作品の紹介、邦人作品の初演やCD録音に積極的に携わっており、現在までにその数は170曲を超える。ここ数年ではアイヴズ「交響曲第4番」(2022年、タクティカート・オーケストラ)やメシアン「トゥランガリラ交響曲」(2024年、アンサンブル・ヴェネラ)の指揮、芸術監督を務めた第6回両国アートフェスティバル(2021年)、神奈川県民ホール主催「C×C 夏田昌和×アルノルト・シェーンベルク」(2024年)、東京都交響楽団定期演奏会における「重力バ」再演(2025年)といった公演が大きな話題を呼んだ。アンサンブル九条山への客演は2023年以降の2度目となる。

www.artandmedia.com/artists/masakazu-natsuda/

演奏 ● アンサンブル九条山 / Ensemble Kujoyama



2010年ヴィラ九条山レジデントであったヴァレリオ・サニカンドロにより設立された現代音楽アンサンブル。国内外でキャリアを積み、ソリストとしても広く活動する現代音楽のスペシャリスト達で構成されている。2015年より演奏家による企画を主体に公演を行う形で再始動。シアターベースや新作初演等も積極的にに行い、演者の視点を採り入れた現代音楽の新鮮なアプローチを試みている。2019年度音楽クリティック・クラブ賞奨励賞、及び令和元年度大阪文化祭奨励賞受賞。

ソプラノ：太田真紀
フルート：若林かをり
クラリネット：上田 希
ヴァイオリン：石上真由子
チェロ：福富祥子
打楽器：畑中明香
ピアノ：森本ゆり
電子音響：牛山泰良(ゲスト)

<http://ensemble-kujoyama.blogspot.com/>
<https://www.facebook.com/ensemblekujoyama/>

